

都民版

新宿支局
渋谷区代々木
2の703 千151
第7 荒井ビル
電話 (3320)0511
FAX (3320)0750
都民版広告
(3265)9581

TOKYO 新空間

▶ 8 ◀

周囲がまだ暗やみに包まれた午前五時四十分。「パバ、いってらっしゃい」。日立電子サービスのコンピュータ技術師、西村泰延さん(三十七)は、長女の直子ちゃん(八)に見送られて栃木県黒磯市の自宅を出た。

JR那須塩原駅まで自家用車で五分。駐車場に車を預け、午前六時五分の始発の新幹線「なすの二三〇号」に乗り込む。浜松町の本社まで一時間四十分。

「以前住んでいた千葉県野田市の社宅と比べても、五分長くなっただけ。始発だから必ず座れて非常に気持ちいい」

西村さんは四年前、黒磯市北弥六の新興住宅地に家を建てた。同じ地区で暮らす三十世帯のうち二十八軒が東京方面への新幹線通勤組。地元の人はこの一帯を「東京村」と呼ぶ。

も連なる。

「東京は仕事の間。暮らしはこつこつ静かな所がいいな」

大学時代まで九州の田舎にいた西村さん。決断は早く、旅行から八か月後には「東京村」の

西村さんが黒磯市に引っ越したのは、会社から「四十五歳までに社宅を出てほしい」と言われたのがきっかけだった。

神奈川、千葉、埼玉と土地を探したが、高くて手が出ない。そんな時、家族で那須を旅行した。澄んだ空気。緑が美しい雑木林の向こうには、那須の山々

探したが、高くて手が出ない。そんな時、家族で那須を旅行した。澄んだ空気。緑が美しい雑木林の向こうには、那須の山々

生活重視で新幹線通勤



▲自宅そばに借りた畑で、西村さん一家が野菜を収穫している。周囲は雑木林が広がる。

住民となっていた。

敷地三百六十平方メートルに四LDKの二階建て。車も一台ある。

週末は近所の農家から借りた畑で野菜作り。ハイキング、スキー、温泉と遊びには事欠かない。

いつの間にか持病のぜんそくも軽くなった。妻の文子さん(三十八)もこの地を気に入っている。子供を遊ばせても危険がないし、物価も安いから」

栃木県内からの通勤者の増加に対応し、JR東日本は先月のダイヤ改正で、那須塩原駅始発

那須の「東京村」

通勤期の売り上げは年十数%のペースで伸びているが、西川光・輸送課長は「高い生活レベルと東京への近さの両方を求める人はもっと増える」と言い切る。

西村さんらが暮らす地区の土地を分譲した同市の開発会社社長、中田洲さん(五〇)によると、買い手は三、四十歳代が中心。仕事より生活重視の世代だ。

「数年前までは住宅難で仕方なく栃木に家を買った人が多かった。しかし最近では、仕事や友人関係で東京との接点を持ちたい住民も温かく迎えているようだ。西村さんら「東京村」の住民約二十人に農地を貸している

西村さんの二軒隣に住むDDI社員河内賢二さん(四三)は先月、「那須の情報を発信して仲間作りや情報交換に役立てたい」と、パソコンネット「那須ネット」を開局した。その中には、温泉やスキー場の情報、お店紹介などのコーナーがあり、利用者は地元のほか、東京、千葉、埼玉にも広がっている。

「こうした東京通勤組を、地元や競争であせくせず、伸び伸び育ててくれれば」と、新春に願った。(おわり)

「私が今年、小学校に入ると手がからなくなるのに、今度は光貴の世話で大変ね」

お姉さんになった二女の知子ちゃん(五)が少し大人びた口調でお母さんに言う。そんな様子を見ながら、西村さんは「受験や競争であせくせず、伸び伸び育ててくれれば」と、新春に願った。(おわり)

第4回東京都市モーター競走会会長賞レース
開催日 1/14 (SUN) 18 (THU)
多摩川競艇
発売開始 AM11:15

★USO放送★
火玉爆発
す あれはお別れのご挨拶で
岡本太郎
(せんむさん)

＜あすの暦＞
1月14日(日)
通日 14
(旧11月24日)
＜仏滅＞
月齢 23.0
日出入 6.51
月出入 16.49
月日 11.17
(小潮)東京標準
満潮 10.14
干潮 17.05
きょうの予想
気温 最高 14度
最低 4度
最小湿度 25%

男性カツラの(年中無休)修理屋さん
カツラが破れた! 髪が抜けた。
おまかせ下さい
■傷んだ部分をスピーディ修理
■1万円～5万円弱で新品同様
(完全仕上げ付き)
(株)ギルトジャパン ウィッグ メディカル
ダイヤル 0120-080-180
〒120 東京都足立区千住5-12-3(イシバビル2F)